

## KG かながわ第20回ミニ講演会 報告

日 時:2023年9月2日(土)10時~11時30分 (終了後、懇親会)

場 所:杉田地区センターB 集会場

参加者:講演会32名(1963~1984卒・うち東京支部4名)

講 師:大西 義威氏(1973年 社会学部卒)

テーマ:「60才でサラリーマンから洋食屋さんになった訳  
~私の履歴書風に振り返りお話しします。」

### 《はじめに》

今回はダイエーグループなどで経営の中核の立場で活躍され、その後神田で「美味これくしょん神田倶楽部」を開きレストラン経営をされている大西氏の講演でした。文字通りテーマに関心を持たれた方や料理・食などに関心の深い方などが出席されました。

受付は杉本幹事(1975 文)と三浦美智子さん(1975 文 支部会員)、司会進行は高沢副支部長(1983 文)が担当しました。佐藤支部長(1972 経)の講師との初めての出会いなどを含めた開会挨拶のあとに本題講演に移りました。

### 《講演内容》



#### (1)誕生から大学卒業まで

生まれは兵庫県加古川市平岡町、米どころの東播地区の出身。生家は江戸元禄から続く米作と播州木綿の機織り工房も兼ねた自営農家。長兄は脳神経外科の専門医で病院を経営。長姉は薬剤師。

兵庫県立加古川東高校を卒業、当初は医学部を目指し2年にわたり受験するも4度失敗。1浪の後に文系に進路変更し関学(社)に入学し1973年3月に卒業。

\* 大学3年時には父親の奨めもあり地元加古川で喫茶店の経営をする。これが飲食店経営の難しさを理解するベースになった。

#### (2)ダイエー入社から慶應大学院卒業まで

1973年4月関学卒業後、ダイエーに入社。関東地区のお店で庶務課の業務、パート、アルバイトなどの採用・教育などを担当。1977年北海道の新店(琴似店)オープンから担当した後、大阪本社に異動しPOSシステムの開発PJなどに携わる。

1981年ダイエーからの派遣で慶應義塾大学大学院経営管理研究科入学。2年次は和田充夫ゼミ。卒論は「チェーンストアの店舗戦略と営業成果」で1983年3月に修士課程修了。

#### (3)新神戸オリエンタルシティC3とダイエー本社HOC

1983年ダイエー子会社で神戸の中央市民病院跡地を買収し、新神戸オリエンタルホテル開業までの仕事に携わる。開業までには全国のホテルや神戸の多数の飲食店を視察して新事業に生かした。

1989年東京本社事業企画本部でグループ内事業のリストラチャリング、外部企業とのM&A、新規事業計画の作成を担当。1992年経営企画本部で本体・グループ会社の3カ年計画など事業計画の策定や小会社など合併やテレビ局新設・船会社の買収にも携わる。

1994年社長室で中内社長の下で担当副室長を務める。

~1995年阪神淡路大震災~

1996年株式会社消費経済研究所代表取締役社長に就任し、商品開発体制の構築やマーケットリサーチ業務を強化。



(4) 福岡3点セット・・・ ドーム・ホテル・野球

世相は三洋証券、山一証券、北海道拓殖銀行破綻など未曾有の金融危機の時期。

1996年本社TDC事業担当兼ドーム球場専務として、経営不振の福岡三点事業の実態調査を中内社長より命じられ、立て直し案を答申したところ、1997年から三点事業の各社専務取締役役に任じられ、人事・総務・財務・経理などを所管。

この間の事業再建の内容は週刊ダイヤモンドに『会社再建』として約1年にわたり連載された。

\* 2000年12月には実兄の脳外科専門病院建設に際しては弟として兄に代わり大手銀行とも折衝し融資を受ける手はずを整えた。(関学同期の大手銀行行員に紹介を受けた)

2004年4月外資系ファンドのコロニーキャピタルが新生ホークスタウンの100%出資となるが、経営を巡り対立していたことから9月に社長・常務と共に専務取締役を解任される。

(5) ファンドによる解任後から「ぴあ」まで

2005年オーストラリア大使館商務部の依頼により、沖縄カジノリゾート複合施設の事業計画策定やレッドブルの日本市場への参入などを計画・実現させた。

2006年ぴあ株式会社取締役就任。人事制度や賃金テーブルの見直しを行う。2009年6月ぴあ取締役退任。

(6) 2009年美味これくしょん神田倶楽部店舗開業

シーホークホテルと新神戸オリエンタルホテルでは合わせて300人(正社員)ほどの調理人がおり、毎年数十人が入社し同じくらいの数だけ辞めていく。その多くは自立・開業だが3年～5年経って残るのは1人か2人。そのくらい飲食業を続けるのは難しい。料理の腕前は一流でも経営の経験はほとんどない。そんな彼らを見ていて、もっと彼らが生き残れるよう支えていきたいとの思いもあり飲食業を開業した。

(7) その後・・・2015年から2019年まで

株式会社アサツーデー・ケイ監査役、株式会社ADKアーツ監査役などを歴任。

(8) 今起きている地球規模の変化の潮流

- ・ビッグデータ、AI(人工知能)、ロボティクス、自動運転、フィンテック
- ・仮想通貨
- ・量子物理、量子コンピューター

→これらの事象をどう捉えてどう対処するかが大事。将来量子コンピューターが本格的に出てきたとき世の中はどう変わるか。自身は18才まで、60才まで、そしてその後と時代の変化は大きかったが、これからの潮流を若い人にはしっかり捉えてほしい。

《講演後の質疑応答》

Q.母校関学に貢献したことは？

A.卒業後関東で生活することが多かったが常に「関学ではなく関西(カンセイ)学院大学卒業です」と胸を張って話した。

Q.ソレイユの会ではブログもアツプして先輩の話をしてもらっている。又、機会があれば講話をお願いしたい。

A.大丈夫です

Q.神田倶楽部のBIMIの意味は

A.美味これくしょんはフレンチ、イタリアンとか中華とかジャンルに拘らず素材を生かして、色々な美味しい料理を作り、味わっていただくと言うこと。

《おわりに》

大西講師が生まれてから今日までを日経新聞の「私の履歴書」風に語って頂きました。医学部受験に失敗した挫折をそのままにせず、関学 3 年時に喫茶店経営をしたり、果敢に新しいチャレンジをされるなど洋食屋さんを始める素養はその頃からあったのかも知れません。

ただ、単に儲かる洋食屋さんを経営するのではなく、またお客様に美味しい料理を神田倶楽部で食べていただくということだけでなく、料理を作る側「調理人」をオールラウンドに育てることに、より注力されているということでした。

独り立ち出来る料理人の数は極めて少ないその実態をなんとかしたいと願う講師の更なる挑戦は、3点事業などで会社の存亡を賭けた経営の舵取りをしてきた講師の人生と重なるものもあるのかも知れません。

《懇親会・杉田商店街のパレドバルブにて》

講演会終了後、会場をレストランに移し講師を囲んで懇親会を開催しました(参加者31人)。

移動の途中に商店街が火事で黒煙が立ちこめるハプニングもありましたが、お一人ずつの近況報告も含め、2019年第14回以来4年ぶりの懇親会は大変盛り上がりしました。最後に記念写真と佐藤支部長自らのエールで校歌「空の翼」を全員で斉唱しお開きとしました。

以上

【文責・事務局長 井村正和】

